

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

資料 2

目標1 お互いの幸せのために、自然に関わりあいのできる「つながり」をつくろう

施策1 人への思いやり、やさしい心が自然に育つ教育、意識づくり

○「心のバリアフリー教育」を進める

- A できている
- B ほとんどできている
- C あまりできていない
- D できていない

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
□心のバリアフリーについて、教育の現場や、講演会などで市民の理解を深める	障がい福祉課	アートフェス(障害者作品展)の開催	平成29年1月にいんざいアートフェスを開催した。	A できている	継続実施しており、概ね好評を得ている為
	子育て支援課	子ども発達センターによる巡回相談等の実施及び教育関係機関との連携を図り、心身の遅れのある子どもへの一貫した支援体制の充実につとめる。	保育園・幼稚園の定期巡回相談を31園に対し37回、延べ138人。利用児巡回相談を26園に対し32回、延べ81人に実施した。また、現状把握として教育委員会指導主事と小学校19校を巡回した。	A できている	巡回相談を希望する園に対し実施できた。
	社会福祉協議会	福祉用具による疑似体験、支部社協の子どもと高齢者とのふれあい事業を通して心のバリアフリー教育につなげる。子ども福祉新聞の発行。子ども向け夏休みボランティア体験講座の開催。	福祉用具による疑似体験、支部社協の子どもと高齢者とのふれあい事業を通して心のバリアフリー教育につなげた。また、子ども夏休み体験講座を開催した。小学校福祉体験学習への講師派遣 8回 福祉用具貸出 7回 子ども夏休み体験講座 10名参加	C あまりできていない	依頼によるものがほとんどのため
□市内の企業・事業所と地域との連携意識の推進	社会福祉協議会	賛助、特別会費、共同募金の協力依頼を行い、地域への還元による協力意識を育む。松崎工業団地連絡協議会など組織的な協力依頼。	賛助・特別会費の協力依頼を行い、地域への還元による協力意識を図った。松崎工業団地連絡協議会など組織的な協力依頼を行った。	C あまりできていない	例年の活動に留まってしまっている
□男女共同参画の推進	市民活動推進課	男女共同参画プランに基づき各課において施策を展開し、男女共同参画の推進に努める。	男女共同参画プランに基づき各課において施策を展開し、男女共同参画の推進に努めた。	B ほとんどできている	全128事業中117事業を実施中、4事業を実施予定。

○福祉の現場やしぐみについて「知る」機会を増やす

□学校教育での職場 体験 (例：生き生き体験学習)	指導課	市内中学2年生が老人ホーム等の事業所において現場体験学習を行う。	市内中学2年生29名が老人ホーム等の8事業所において現場体験学習を行った。	A できている	学校では味わえない体験ができただけでなく、地域とのふれあいができた。また、地域社会の一員としての自覚を高めることができた。
□市民向けの福祉施設見学や体験学習の機会を設ける	社会福祉協議会	小学生等へ高齢者疑似体験や車いす操作など総合学習の時間に講師として協力を行う。	小学生等へ高齢者疑似体験や車いす操作など体験学習に講師として協力を行う。また、子ども夏休み体験講座で、障がい者福祉施設への体験を行った。	C あまりできていない	依頼によるものがほとんどのため
□福祉を考える機会の充実 (例：出前講座の活用)	生涯学習課	出前講座メニュー60講座のうち、福祉関係は8講座(継続8)を開設。	福祉関係の講座を41件実施した。(全体数は83件)町内会や高齢者クラブを中心に、実施の依頼があり、特にちよきん運動の講座を継続して行っている団体もある。	A できている	出前講座として浸透しており、広く利用されているため。

○子どもや高齢者、障がい者、母国語の異なる人などの交流を増やす

□地域での世代間交流の機会を設ける	社会福祉協議会	各支部社協において、小中学生や高齢者とのふれあい交流会事業を実施。印旛明誠高等学校との交流を図る。	各支部社協において、小中学生や高齢者とのふれあい交流事業を実施。印旛明誠高等学校の生徒へ福祉まつりのスタッフとして参加協力を依頼した。	A できている	支部活動が活発に展開されているため
□外国人との交流の場を設ける(例：ハロー！フレンズ)	企画政策課	市立幼稚園及び小中学校において、外国人市民等を講師に異文化理解推進事業を実施するほか、一般市民向けには、千葉県国際交流センター等より講師を派遣してもらい異文化理解講座を実施する予定。	市立幼稚園及び小中学校を対象とした異文化理解講座は、小学校3校、参加児童数195名で実施した。一般市民向け講座は市内4つの会場で6回実施。平均参加人数は19名で好評であった。	B ほとんどできている	市立幼稚園及び小中学校を対象とした講座は、実施校が3校と前年度より減少したものの、一般市民向けの講座では平均参加人数が増加し、講座自体も好評だったため。
	保育課	各公立保育園で国際化推進事業(ハローフレンズ)の実施	各公立保育園で国際化推進事業(ハローフレンズ)の実施	A できている	各公立保育園において国際化が推進できた
□障がい者との交流・体験	障がい福祉課	メンタルヘルスサポーター養成講座参加者のデイケア実習の開催	メンタルヘルスサポーター養成講座参加者のデイケア実習を開催し、14名が参加した。	A できている	継続実施が出来ている為。

○「福祉＝しあわせ」をひろげる

□地域福祉計画・地域福祉活動計画の普及	社会福祉課	第2次計画についての評価及び第3次計画策定についてのアンケート調査やパブリックコメント等により広く市民の意見を反映するとともに、広報、ホームページ等活用して広く市民に伝えていく。	第2次計画について推進委員会の評価を実施。また、第3次計画策定についてのアンケート調査を実施。パブリックコメント等により広く市民の意見を反映するとともに、庁内会議及び地域福祉計画策定委員会を開催し、第3次計画を策定。広報、ホームページ等活用して広く市民に伝えた。	A できている	計画どおり実施された。
	社会福祉協議会	地域福祉計画策定委員に支部社協役員から選出。地域福祉活動計画についても地域福祉活動計画策定委員会を設置し、現計画評価と次期計画の策定に向けて取り組む。	第3次活動計画策定に取り組んだ。また、策定にあたり市計画と共同して、各支部社協にて懇談会を開催した。	C あまりできていない	推進委員会を開催することができなかった

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標1 お互いの幸せのために、自然に関わりあいのできる「つながり」をつくろう

施策2 誰もが分け隔てなく参加し、協力できる地域のつながりづくり

- A できている
B ほとんどできている
C あまりできていない
D できていない

○地域の顔見知りを増やす

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
□家庭や地域でのあいさつや声かけの推進の後援	社会福祉協議会	船穂・牧の原支部の小学校安全パトロール時のあいさつ、各支部社協の小学校との交流事業、ふれあいサロン、ふれあい給食を行うことによってあいさつ、声かけの推進をする。	船穂・牧の原支部の小学校安全パトロール時のあいさつ、各支部社協の小中学校との交流事業、ふれあいサロン、ふれあい給食を行うことによってあいさつ、声かけを推進した。	C あまりできていない	支部社協が各中学校のさわやかコミュニティ事業に参加協力
	生涯学習課	地域ぐるみさわやかコミュニティ各中学校区地域推進委員会によるあいさつ運動	・市内6中学校区であいさつ運動を通年で実施。 ・年4回の地域推進委員会議の開催。 ・地域防犯パトロールの実施。 ・地域・学校連携事業の実施。	B ほとんどできている	全体としての推進を図るため、推進委員会の全体会を開催し情報の共有や周知に努めた。
	各課(社協を含む)				
□地域座談会の開催	社会福祉課				
	社会福祉協議会	・次期福祉計画及び活動計画のための各支部社協役員を中心とする福祉懇談会を協働で実施する。 ・NPOによる障がい者地域生活支援事業施設長との懇談会 ・市内社会福祉法人施設長との懇談会	第3次活動計画策定のため、市の計画策定と共同して各支部社協における懇談会を実施した。 NPOによる障害者地域生活支援事業施設長との懇談会を継続開催し、NPO障害者地域生活支援事業施設等連絡協議会を設立した。	C あまりできていない	定期的な座談会となっていない

○町内会等の地域活動を支援する

□町内会等の活動の支援	市民活動推進課	町内会等に対し行政協力交付金及び町内会等活動費補助金を交付し、活動の支援を行う。	町内会等に対し行政協力交付金及び町内会等活動費補助金を交付し、活動の支援を行った。 交付団体数： 行政協力交付金 174団体 活動費補助金 163団体	A できている	前年を上回る交付実績のため。 行政協力交付金 3団体増 活動費補助金 3団体増
-------------	---------	--	--	---------	---

□未組織地域の設立支援・転入者の加入案内	市民活動推進課	町内会設立に向けた集会等に出席し資料の提供や補助金等の説明を行った。町内会自治会連合会が作成した加入促進パンフレットを活用する。	町内会設立に向けて、資料の提供や補助金等の説明を行った。町内会自治会連合会が作成した加入促進パンフレットを活用した。 新設団体:3団体	A できている	新規に3団体の設立があったため。
----------------------	---------	--	--	---------	------------------

○ふれあいのうまれる場所づくり

□だれもが気軽に立ち寄れるふれあいの場づくり	社会福祉課	そうふけふれあい市民センター内世代間交流支援室及び牧の原地域交流センターを地域活動の場として提供する	そうふけふれあい市民センター内世代間交流支援室及び牧の原地域交流センターを地域活動の場として提供した。	A できている	市民が自由に利用できる場の提供を行い、多くの市民が活用した。
□地域みんなで楽しむ行事の実施、支援	生涯学習課	サークル懇話会を主体とし、実施するための支援を継続して行っていく。	公民館・交流館まつりの実施	A できている	公民館・交流館サークル団体の成果発表の実施及びまつり来場者の交流等を図れたため。
	スポーツ振興課	各種イベント行事の開催(スポーツフェス2016等)	スポーツフェス2016を開催し、延べ3,333名の参加があった。	B ほとんどできている	例年の各種目に加え、順天堂大学体操競技部による鉄棒演技を実施した。
	社会福祉協議会	各支部社協における事業への活動費の助成を増額し、支援強化を行う。また、福祉関係団体主催事業への支援、後援。	各支部社協における事業への活動費の助成を増額し、支援を行った。また、福祉関係団体主催事業への支援、後援も行った。	B ほとんどできている	支部への活動費の増額を実施し、支部活動も活発に展開したため
	農政課	平成28年11月5日(土)に実施予定。	平成28年11月5日(土)にいんざい産業まつりを実施した。 参加団体:56団体 (農業関係:9団体, 商工関係37団体, 市関係10団体) 来場者:約13,000人	A できている	計画通りにまつりを開催することができたため。 また、多くの来場者へまつりを楽しんでもらうことを通じ、市内農商工業のPRができたため。
□学校の余裕教室の利用	学務課	地域教育力の活用として、生活科や総合の授業で地域の方々を学校に招き、先人が残した歴史や文化に関する講話をいただく。	地域教育力の活用として、生活科や総合の授業で地域の方々を学校に招き、先人が残した歴史や文化に関する講話をいただいたり、栽培活動の支援等をいただいた。	B ほとんどできている	ほとんどの学校で地域の方々の教育力を活用した学習活動を展開している。
□地域交流の支援(例:総合型地域スポーツクラブ)	スポーツ振興課	総合型スポーツクラブに対する、大会開催の支援・活動の場の提供	学校体育施設開放で優先的に利用校・利用時間を確保した。	B ほとんどできている	総合型スポーツクラブに対する、大会開催の支援・活動の場の提供ができた。
	各課(社協を含む)				

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標1 お互いの幸せのために、自然に関わりあいのできる「つながり」をつくろう

施策3 地域活動のため、動きやすい活動のしくみづくり

- A できている
- B ほとんどできている
- C あまりできていない
- D できていない

○団体紹介や活動のPR

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
□広報いんざいやホームページによるボランティア活動や市民活動のPR	市民活動推進課	企画提案型協働事業や市民活動支援センター、各市民活動団体の催し等を周知する。	市広報紙や市民活動支援センター広報紙、ホームページにおいて、企画提案型協働事業や市民活動支援センター、各市民活動団体の催し等を周知した。	A できている	計画どおり実施された。
	健康増進課	地区健康推進員活動の周知を行っていく。	地区健康推進員だよりとして「ちくすいだより」を年1回発行し、周知を図った。	A できている	地区回覧や市役所、支所、公民館で配付している。
	社会福祉協議会	ふくし印西、ホームページへボランティア情報の掲載、更新。支部社協の広報紙への掲載。	ふくし印西へボランティア情報の掲載。支部社協の広報紙への掲載。	D できていない	広報やホームページを活用できていない
	各課(社協を含む)	市民活動団体を広報いんざいで紹介(広報公聴課)	広報いんざいのリニューアル(H28.10)に併せ、「INZAI LIFE」というコーナーを設け、各種市民活動団体を紹介	A できている	市民活動団体を広報で紹介することで、活動を広く市民に周知することができた
□ボランティア活動や市民活動情報発信の支援	市民活動推進課	支援センター広報紙の発行及びホームページにより随時情報を発信する。	年4回の支援センター広報紙の発行及びホームページにより随時情報を発信した。	A できている	計画どおり実施された。
	障がい福祉課	デイケアボランティアの登録案内	デイケアボランティアの登録が充足し、飽和状態にある為、メンタルヘルスサポーター講座での登録の案内は行わなかった。	A できている	実施しなかった。
	社会福祉協議会	ふくし印西、ホームページへボランティア情報の掲載、更新。支部社協の広報紙への掲載。	ふくし印西へボランティア情報の掲載。支部社協の広報紙への掲載。	D できていない	広報やホームページを活用できていない
□ボランティア活動や市民活動団体の交流・発表機会の拡充を推進(例：ボランティアまつり、だんごフォーラム)	市民活動推進課	だんごまつり及びボランティア体験会を開催し、市民活動団体の交流及び発表の場を設ける。	だんごまつり及びボランティア体験会を開催し、市民活動団体の交流及び発表の場を設けた。	A できている	計画どおり実施された。
	社会福祉協議会	いんざい福祉まつりを継続開催する。昨年度ボランティア連絡協議会の設立し、熊本地震支援金の募金活動等の具体的な活動に取り組む。	いんざい福祉まつりを継続開催することにより、ボランティア活動の発表の機会や交流の場を得た。また、ボランティア連絡協議会による熊本地震義援金や福祉まつりでの赤い羽根共同募金の募金活動を行った。	B ほとんどできている	昨年に引き続き発表や交流の場を提供できた

○地域活動したい人、始めたい人のきっかけづくり

□市民活動支援センターによる活動支援	市民活動推進課	情報収集や情報提供、人材育成や活動の場の提供、団体間交流に関する事業を行う。	市民活動支援センターを拠点に、情報収集や情報提供、人材育成や活動の場の提供、団体間交流に関する事業を行った。	A できている	計画どおり実施された。
□地域福祉センターの活用	社会福祉課	情報収集や情報提供、人材育成や活動の場の提供、団体間交流に関する事業を行う。	印西地域福祉センター及び印旛地域福祉センターを情報収集の場として提供した。	B ほとんどできている	市内福祉団体に活動の場を提供できた
	社会福祉協議会	社協本部及び各支部、福祉関係団体、ボランティア団体の活動拠点として活用。	社協本部及び各支部、福祉関係団体、ボランティア団体の活動の場として活用した。	B ほとんどできている	活動の場として活用できた
□支部社会福祉協議会活動の支援	社会福祉協議会	各支部社協における事業への活動費の助成を増額し、支援強化を行う。	各支部社協における事業への活動費の助成を増額し、支援を行った。	A できている	活動費を増額し、事業の支援も行った
□ボランティアセンター機能の強化	社会福祉協議会	ボランティア保険の受付、ボランティアニーズのコーディネート、ボランティア団体の活動支援、ボランティア情報の提供。	ボランティア保険の受付、ボランティアニーズのコーディネート、ボランティア団体の活動支援、ボランティア情報の提供を行った。	C あまりできていない	例年通りの取り組みに留まったため
□活動の場の提供	市民活動推進課	市民活動支援センターなどの活動の場の提供、また、だんごまつりによる発表の場を提供する。	市民活動支援センターなどの活動の場の提供、また、だんごまつりによる発表の場を提供した。	A できている	計画どおり実施された。
	社会福祉課	市民センターや地域福祉センターを活動の場として提供する。	市民センターや地域福祉センターを活動の場として提供した。	A できている	団体やサークル等活動の場の提供を行った。
	社会福祉協議会	ボランティア室の提供や、ボランティア活動依頼の情報提供。ボランティア人材の発掘・育成。	ボランティア室の提供や、ボランティア活動依頼の情報提供を行った。また、音訳・ハンドマッサージ・生活支援サポーター養成講座を開催しボランティア人材の発掘・育成を行った。	B ほとんどできている	貸室の提供や養成講座の受講生が活動につながったため

○地域の人材や資源の情報収集と活用

□公民館、コミュニティセンター等の活用の支援	市民活動推進課	地域団体である指定管理者がコミュニティセンターを管理。地域コミュニティを推進する。	地域団体である指定管理者がコミュニティセンターを管理。各館において講座等を実施するとともに地域の団体等に活動の場を提供し、地域コミュニティを推進した。	B ほとんどできている	4館で、入館者数97,119人、204回の講座等を実施。
	生涯学習課	年間を通して各サークル等が円滑に活動出来るよう支援を行うとともに人材育成のための講座を開講する。	サークル団体等への活動支援及び人材育成のための講座を開催。	B ほとんどできている	年間を通して各サークルが円滑に活動出来るよう支援を行った。
□地域の福祉人材の育成や活用	障がい福祉課	メンタルヘルスサポーター養成講座の開催	メンタルヘルスサポーター養成講座を全6回、開催し、延べ252人が参加した。	A できている	参加者多数で実施出来ている為。
	高齢者福祉課	福祉の現場に従事する専門職による認知症サポーター養成講座の実施 17校を予定 認知症カフェを市内全域で実施 11回を予定	小学校17校で実施し869人を養成した 一般向けでは、企業等8箇所で開催し234人を養成した 認知症カフェは市内全域で11回実施し専門職やボランティアの参加も含め262人の参加があった	A できている	人材の育成と、人材を活用した事業展開が定着している。
□地域の福祉人材の育成や活用	子育て支援課	ブックスタート事業の読み聞かせのボランティア登録者を増やし、年間を通じ活動出来るように努める。	ブックスタート事業の読み聞かせをボランティアにより行い、活動の充実を図れた。	A できている	ブックスタート事業の読み聞かせのボランティア活用により事業の安定が図れた。
	社会福祉協議会	ハンドマッサージボランティア養成講座、小学生向けボランティア体験講座、を開催する。	ハンドマッサージボランティア養成講座、子ども夏休み体験講座、音訳ボランティア養成講座、生活支援サポーター養成講座を開催。また、市民活動支援センターと共催の夏休みボランティア体験プログラムを開催した。	B ほとんどできている	養成講座の開催については僅かながら増えた

持続可能な活動のしくみづくりの支援

□役員の事務作業等の負担の軽減、解消の支援	各課(社協を含む)				
□世代交代の円滑化の支援	各課(社協を含む)				
□役員向けノウハウの収集・伝達の支援	各課(社協を含む)				

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標2 誰もが安心して必要なサービスを利用できる「しくみ」をつくろう

施策4 わかりやすく、いつでも利用できる情報提供や相談のしくみづくり

- A できている
- B ほとんどできている
- C あまりできていない
- D できていない

○福祉の情報を知る機会、場所を増やす

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
□ガイドブック等の普及、活用	障がい福祉課	「障がい者福祉のしおり」「メンタルヘルスガイドブック」「いんざいこどもサポートガイド」の作成・配布	「障がい者福祉のしおり」「メンタルヘルスガイドブック」「いんざいこどもサポートガイド」の作成・配布を行い、窓口や講座などで配布した。	A できている	継続して実施している為。
	子育て支援課	子育てに関する情報を掲載した子どもガイドブック及び子育てガイドを配布。また、これから生まれてくる子の父親に対して、パパ手帳を配布する。	子育てガイドに子育てに関する情報を掲載している。また、これから生まれてくる子の父親に対して、パパ手帳を配布した。配布冊数 911冊	A できている	妊娠届が出されたときに、母子手帳と一緒にパパ手帳を配布し、情報の提供を行うことができた。
	保育課	子どもガイドブックへの情報掲載	子どもガイドブックへの情報掲載	B ほとんどできている	子どもガイドブックへの情報掲載
	健康増進課	子どもガイドブックの発行 予定1,300冊	出生児及び転入児に子どもガイドブックを発行した。発行数は1,193冊(出生児782冊、転入児411冊)。	A できている	出生児及び転入児に対して子どもガイドブックを発行することができているため。
	社会福祉協議会	今年度はガイドブックの配布を実施しない。	改めての配布はないが、社協の説明時などには随時配布。	C あまりできていない	新たなガイドブックの作成ができなかった
	市民課	転入者に配布	転入届の際に各種ガイドブック等を配布した	B ほとんどできている	転入者への配布物をまとめた転入袋を渡しているため
□市役所の福祉フロア（窓口）の充実	社会福祉課	各種パンフレット、チラシ等をフロアに設置し情報提供する。	各種パンフレット、チラシ等をフロアに設置し情報提供した。	A できている	継続して実施している為。
	障がい福祉課	各種パンフレット、チラシ等をフロアに設置し情報提供している。	各種パンフレット、チラシ等をフロアに設置し情報提供した。	A できている	継続して実施している為。

□市役所の福祉フロア（窓口）の充実	健康増進課	引き続き、市内施設12か所の健康情報コーナーや各種健診会場での健康情報パンフレットの配布、ポスターの掲示を行う。	市内施設12か所の健康情報コーナーや各種健診会場での健康情報パンフレットの配布、ポスターの掲示を実施。	A できている	健康情報コーナーや各種健診会場での健康情報パンフレットを持ち帰る人が多いため
	土木管理課	筆談対応表示案内の掲示	窓口での筆談対応案内の掲示	A できている	筆談対応表示案内の掲示を実施したため。
	各課				
□ホームページによる情報発信の充実	資産税課	引き続き固定資産税の説明の閲覧や、申請書のダウンロードができるようにする。	固定資産税の説明の閲覧や、申請書のダウンロードができるようになっている。	A できている	固定資産税の概要の説明の閲覧、各種申請書のダウンロードができるようになっている。
	社会福祉課	お知らせや手当、助成等の制度について最新の情報を掲載していく。	お知らせや手当、助成等の制度について最新の情報を掲載した。	A できている	制度等市民が必要としている情報をタイムリーに得られるよう配慮した。
	障がい福祉課	お知らせや手当、助成等の制度について最新の情報を掲載している。	お知らせや手当、助成等の制度について最新の情報を掲載した。	A できている	随時更新を行った為。
	高齢者福祉課 介護保険課	介護保険課への各種申請書や「高齢者福祉のしおり」等を掲載していく。	介護保険課への各種申請書や「高齢者福祉のしおり」等を掲載した。	A できている	古希・傘寿を迎える方に高齢者福祉のしおりを送付し、サービスの周知を図った。
	子育て支援課	子育てに関する情報及び子育て支援センター、児童館の事業予定を掲載し、毎月更新している。	子育てに関する情報及び子育て支援センター、児童館の事業予定を毎月掲載した。	A できている	子育てに関する情報及び子育て支援センター、児童館の事業予定を毎月掲載し情報提供に努めることができた。
	保育課	保育園及び学童クラブの情報掲載	保育園及び学童クラブの情報掲載	B ほとんどできている	保育園及び学童クラブの情報掲載
	健康増進課	引き続き、各種健（検）診の案内や予防接種、その他健康づくりに関する情報を掲載する。	年度当初には各種健（検）診の案内や予防接種についてのホームページを掲載し、熱中症予防や喫煙予防、食育レシピなど、その他健康づくりに関する情報を随時掲載した。	A できている	予定通り掲載し、分かりやすい内容を心がけた。
	下水道課	引き続き、福祉減免について、HPIに掲載	福祉減免についてHPに掲載した	A できている	福祉減免についての情報を提供できている

□ホームページによる情報発信の充実	社会福祉協議会	十分な情報の更新ができていない。	十分な情報の更新ができていない。	D できていない	十分な情報の更新ができなかった
	各課(社協を含む)				
□出前講座のPR、内容の充実	生涯学習課	出前講座メニュー60講座のうち新規メニューはなし。広報・町内会回覧等で引き続き周知していく。	出前講座実施件数は83件、参加人数は1764人であった。	B ほとんどできている	27年度より減少はあったが、広報・回覧の反応がある。
□地域福祉計画・地域福祉活動計画の普及	社会福祉課	地域福祉活動について、地域福祉計画等を通して広く周知していく。また、計画書については、ホームページに掲載するとともに、公共の施設等にも置き閲覧できるようにする。	地域福祉活動について、地域福祉計画等を通して広く周知し、計画書については、ホームページに掲載するとともに、公共の施設等にも置き閲覧できるようにした。	A できている	計画どおり実施された。
	社会福祉協議会	地域福祉計画策定委員に支部社協役員から選出。地域福祉活動計画についても地域福祉活動計画策定委員会を設置し、現計画評価と次期計画の策定に向けて取り組む。	地域活動計画については、社協窓口にて配付や閲覧できるようにした。	D できていない	十分な普及には至らなかった

○行政の相談窓口を充実する(相談の実績(内容、開催回数、相談件数等)も記載してください)

□市役所相談窓口の充実 (例: 市民生活相談、家庭児童相談など)	市民課	毎月第2金曜日・第4火曜日に法律相談及び市民生活相談、人権相談(第2金曜日のみ)を実施する。	毎月第2金曜日・第4火曜日に法律相談及び市民生活相談、人権相談(第2金曜日のみ)を実施した。 相談件数: 法律相談218件、市民生活相談123件、人権相談2件	B ほとんどできている	全体としては空きがある状況であり、相談の機会としては充足しているが、今後も周知が必要と思われる。
	障がい福祉課	相談事業(医師によるこころの相談、支所での障害福祉巡回相談、障害者就労相談の実施)	相談事業(医師によるこころの相談(全5回延べ10人参加)、支所での障害福祉巡回相談(48回)、障害者就労相談(延べ696件)を実施した。	A できている	継続して実施している為。

□市役所相談窓口の充実 (例：市民生活相談、家庭児童相談など)	子育て支援課	子どもや家庭に関する悩みや問題に対して、不安等が緩和できるよう児童家庭相談を行う。	子どもや家庭に関する悩みや問題に対して、不安等が緩和できるよう児童家庭相談を実施。相談件数 延べ855件	A できている	家庭相談員が子どもや家庭に関する悩みや問題に対して児童家庭相談を行っている。
	健康増進課	前年度に引き続き、来所又は電話にて相談を受け、相談内容により専門職が対応していく。	来所健康相談 34人、電話相談 410人実施。	A できている	定期や随時、電話などで、気軽に相談しやすい体制を整えている。
	指導課	交友関係の悩みや不登校など教育全般についての相談を相談員や指導主事が対応していく。	窓口96件、電話102件	A できている	家庭教育の悩みや就学に係る相談が多い。適切に対応できた。
□地域包括支援センターにおける高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者福祉課	ひき続き窓口、電話相談、来庁出来ない方には訪問し相談を受けると共に地域住民からの相談を受けられるよう関係機関との連携強化に努める。	窓口、電話相談、来庁出来ない方には訪問し相談を受けると共に地域住民からの相談を受けられるよう関係機関との連携強化に努めた。 実績 総合相談件数 2372件 在宅介護支援センターの実態調査 1924件実施	A できている	地域からの相談を受けやすくするため、民生委員の定例会等に担当者が出席する等して、地域包括支援センターの周知に取り組めた

○地域での身近な相談窓口をつくる

□相談窓口の充実・広報 (例：心配ごと相談)	障がい福祉課	障害福祉巡回相談(印旛・本埜支所)の実施	障害福祉巡回相談(印旛・本埜支所)を月に4回、計48回実施した。	A できている	継続して実施している為。
	社会福祉協議会	市広報いんざい、社協ふくし印西に相談日を掲載。公共施設の掲示板に掲載。	市広報いんざい、社協ふくし印西に相談日を掲載し周知した。	C あまりできていない	広報誌への日程掲載に留まったため
□民生委員・児童委員による相談援助活動の広報・支援	社会福祉課	民生・児童委員の活動についてホームページや広報等活用し紹介していく。市民からの相談、支援に必要な情報提供を行う。	広報いんざい、ホームページに民生・児童委員の活動について掲載している。市民からの相談、支援に必要な情報提供を行った。	B ほとんどできている	情報提供については概ねできている。

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標2 誰もが安心して必要なサービスを利用できる「しくみ」をつくろう

施策5 安心して利用できる福祉サービスの基盤づくり

- A できている
 B ほとんどできている
 C あまりできていない
 D できていない

○社会福祉協議会の強化

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会活動の支援	社会福祉課	社会福祉事業の公益性を認め継続的計画的な活動支援をする。	社会福祉事業の公益性を認め継続的計画的な活動支援をした。	B ほとんどできている	計画どおりできた。
<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会活動の広報	社会福祉課	広報いんざい等活用し、社協の主な活動を紹介していく。	広報いんざい等活用し、社協の主な活動を紹介した。	B ほとんどできている	社協の事業紹介等を広報等を活用し実施した。

○市民同士での手助けの支援

<input type="checkbox"/> 市民同士の助け合いシステムの支援(例：ゆうゆうサービス)	社会福祉協議会	協力者の増加に努める。	生活支援サポーター養成講座の開催や団体などからの制度の説明依頼の実施により協力会員・利用会員の増加が図れた。	C あまりできていない	微増に留まったため
<input type="checkbox"/> 市民による自主的な手助け組織の設置	社協・社会福祉課				

○その人にあった福祉サービスの提供を工夫する

<input type="checkbox"/> 利用者の状態や必要度に応じたサービス提供の推進	障がい福祉課	障害者総合支援法によるサービスの提供、サービス利用計画の作成	サービス利用計画の作成、審査会、支給決定を行い福祉サービスの提供を行った。	A できている	遅延や滞りなくサービス決定を行った為
	高齢者福祉課	ケアマネジャー、在宅介護支援センター、地域包括支援センターを中心にサービス提供を行っていく。	ケアマネジャー、在宅介護支援センター、地域包括支援センターでの相談や訪問を通じて実情にあわせた情報提供及びサービス調整ができた。	A できている	ケアマネジャー、在宅介護支援センター、地域包括支援センターを中心にサービス調整を行った。

□利用者の状態や必要度に応じたサービス提供の推進	子育て支援課	育児・家事等を必要とする子育て世帯にヘルパーを派遣し、育児や家事の負担を軽減、今年度からサービスの利用を土曜日までに拡大し、生活支援の充実に努める。	ヘルパーを派遣することにより、育児や家事の負担を軽減し、生活支援の一助となった。 延利用者数 51人、 利用日数 256日	A できている	事業の周知を図り、育児・家事等を必要とする世帯にヘルパーを派遣し、育児や家事の負担を軽減し、生活支援の充実に努めた。
□サービス事業者との連携	障がい福祉課	障害者総合支援法によるサービスの提供が円滑に進むよう事業者と連携し、個々のケースに合わせた支援を行う。	関連事業所と連携し、障害者支援を行った。	A できている	継続して実施している為。
	高齢者福祉課	困難事例などについて、地域包括支援センターが中心となり適宜、関係機関と連携して対応にあたり、事業者とのネットワークを構築して行く。	特養連絡会、デイサービス連絡会を定期的に行い、困難事例について、事業の実情についてなど情報を共有するとともに顔の見える関係づくりに努めた。また地域の医療機関との連携を図るため、医療機関のソーシャルワーカーとの意見交換も実施した。	A できている	事業者との顔の見える関係づくりができています。
	子育て支援課	子育てヘルプサービスを実施するにあたり、事業者と同行して利用者の面談を行いサービス提供の充実に努める。	子育てヘルプサービスを実施するにあたり、事業者と同行して利用者の面談を行いサービス提供の充実に努めた。(同行面談 18件)	A できている	利用者の必要とするサービスの提供のため連携を図ることができた。

○利用者の尊厳や権利を守るしくみを考える

□成年後見制度など、利用者の尊厳や権利を守るしくみの普及	高齢者福祉課	地域で支えるしくみを作るため、市民後見人のあり方検討会を立ち上げ、市民後見人養成の具現化に向けて検討する。	障がい福祉課と共に、専門職を委員とした市民後見人養成等あり方検討会を4回開催し、市民後見人養成等のあり方について市の方向性を報告書としてまとめた。	A できている	計画通り検討会を開催し、専門職の意見を得て市としての今後の方向性を明確にすることができた。
	障がい福祉課	成年後見制度周知及び成年後見市長申立てを行っていく。	平成28年度は2名の申立てを実施した。	A できている	継続して実施している為。
	社会福祉協議会	成年後見制度の周知並びに日常生活自立支援事業の周知と実施。一般市民向け講演会、制度に興味のある人や昨年度受講者に対する講座、弁護士や司法書士による相談会を実施する。	成年後見制度の周知として、講座や講演会、相談会を実施して周知に努めた。また、日常生活自立支援事業については継続して実施した。	B ほとんどできている	講座や講演会を行うことにより一般の方への周知が行えたため

○福祉サービスに携わる人材の育成

□福祉サービスに携わる人材育成	高齢者福祉課 介護保険課	認知症を支える人の質の向上のために認知症キャラバンメイトの研修会を行う	認知症サポーター養成講座を実施するキャラバンメイトのスキルアップを含めたフォローアップ講座を実施した	A できている	キャラバンメイトの協力により事業を着実に展開できており、実績も上がっている。
	介護保険課	介護認定審査会委員の研修及び施設への職員研修の周知を図る。	千葉県主催の介護認定審査会委員研修への参加について、市内の居宅介護支援事業所に対し、案内及び参加取りまとめをおこなった。(11事業所、20名)	A できている	計画どおりできた。
	子育て支援課	DV・児童虐待相談や対応についての研修に参加をし知識を高めていく。	DV・児童虐待相談研修等に参加し知識を高めることができた。	A できている	知識を高めるため、DV・児童虐待相談や対応についての研修に参加をしている。
□大学等との連携による人材の育成	高齢者福祉課 介護保険課	高校生、専門学生、大学生の実習生の受け入れを行っている。	看護学科の学生1名、認知症看護関係の医療従事者1名の研修を受け入れた。	A できている	研修要望に応じて可能な限り受け入れ、現場の体験を充分に取り入れ指導にあたっている。
	健康増進課	助産師の専門学校1校、保健師の大学2校、栄養士の大学3校を予定している。	助産師の専門学校1校、保健師の大学2校、栄養士の大学3校の学生実習を受け入れた。	A できている	実習内容の充実に努めている。
	各課(社協を含む)				
□地域の経験者・専門家の活用	各課(社協を含む)				

○健全なサービス提供を促す

□サービス事業者情報の開示	健康増進課	必要に応じて、医療機関情報の開示を行っていく。	「いんざい保健センターだより」及び市ホームページに医療機関情報を掲載。	A できている	必要に応じて、医療機関情報を掲載することができた。
	各課				
□福祉サービス第三者評価の推進	社会福祉課	印西市が所轄する社会福祉法人に対し、第三者評価を活用するよう指導を行う。	印西市が所轄する社会福祉法人に対し、第三者評価を活用するよう指導を行った。	A できている	法人監査等により指導を行っている。
	各課				

○生涯を通じた健康づくり

<input type="checkbox"/> 「健康いんざい21」「食育推進計画」の推進（生活習慣病の予防、食育の推進など）	健康増進課	各事業で計画概要版を配布し、計画の周知および実践に向けた健康教育を実施する。	・健康づくり推進協議会を年2回開催し、「健康いんざい21」の進行管理を行った。 ・健康講演会を開催し、健康づくりの普及啓発を行った。	B ほとんどできている	各事業において計画の周知・啓発を図ることができた。
<input type="checkbox"/> スポーツ振興基本計画の推進	スポーツ振興課	スポーツ振興基本計画に基づき各種事業を推進する。	千葉県ラグビーまつりや関東大学女子駅伝等のイベントを開催した。	B ほとんどできている	スポーツ振興基本計画に基づき各種事業を推進できた。

○子育てしながら安心して働けるしくみをつくる

<input type="checkbox"/> ひとり親家庭に対する支援の充実	子育て支援課	ひとり親家庭の生活の向上と自立を促進するため、経済的支援や医療費等の一部を助成するほか、母子・父子自立支援員を配置し、自立に必要な各種相談等の充実を図る。	ひとり親家庭の生活の向上と自立を促進するため、経済的支援や医療費等の一部を助成するほか、母子・父子自立支援員を配置し、自立に必要な各種相談等の充実を図れた。	A できている	ひとり親家庭の生活の向上と自立を促進するため、経済的支援や医療費等の一部を助成するほか、母子・父子自立支援員を配置し、自立に必要な各種相談等を行うことができた。
<input type="checkbox"/> 多様な保育サービスの提供	保育課	病児・病後児保育事業(病児・病後児対応型)の実施	病児・病後児保育事業(病児・病後児対応型)の実施	A できている	病児・病後児保育事業(病児・病後児対応型)の実施
<input type="checkbox"/> 学童保育の充実	保育課	民間の2学童クラブが開所	民間の2学童クラブが開所	A できている	公設の1学童クラブが小学校隣接地に開所、平成28年4月から民間の2学童クラブが開所

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標3 地域ぐるみで、いつまでも安心安全に暮らし続けられる「まち」をつくろう

施策6 暮らしやすさを実感できるまちづくり

- A できている
- B ほとんどできている
- C あまりできていない
- D できていない

○誰にとっても使いやすい仕様（ユニバーサルデザイン）を広める

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
<input type="checkbox"/> 建物や道路、公園・公共交通等のバリアフリーの推進(手すりやすロープの設置など)	建設課	印西市が管理する市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例に基づき、道路の設計・整備を行う。	小林駅南口自由通路建設工事において、エレベーターとエスカレーター等を設置した。	A できている	小林駅南口自由通路の整備によりバリアフリー化が促進されたため。
<input type="checkbox"/> 不特定多数の人が集まる場所でのユニバーサルデザインの普及推進	各課				
<input type="checkbox"/> さまざまな人の通行を考慮した歩道整備（車いす、ベビーカーなど）	土木管理課	引き続き、歩道の整備、URの引継ぎ分整備について、生活しやすいように考慮する。	UR引継ぎの歩道整備について段差等を配慮して、生活しやすいように考慮した。	B ほとんどできている	歩道の整備、URの引継ぎ分整備について、生活しやすいように考慮したため。
	建設課	印西市が管理する市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例に基づき、歩道の整備を行う。	小林駅南口自由通路建設工事において、エレベーターとエスカレーター等を設置した。	A できている	小林駅南口自由通路を整備したため。

○誰もが利用しやすい公共交通の充実

<input type="checkbox"/> 市内バス公共交通の充実	交通政策課	市内に点在する公共施設等の利用について、市民の足を確保し、利便性及び福祉の向上を図る。	利便性向上のため、バス停留所増設やルート見直し等について、事業者と協議を行った。	A できている	平成28年度中は、事業者と協議を行い、平成29年度中に、ふれあいバスのダイヤ改正や車両購入、バス増設を予定している。
<input type="checkbox"/> 鉄道各社との連携	交通政策課	各鉄道会社と沿線自治体との連携を図り、沿線で開催されるイベントへの協力。	JR東日本、北総鉄道(株)、沿線自治体等と協働し、沿線で開催されたイベントへ協力した。	A できている	北総線においては、吉高の大桜への無料送迎バスの運行、ほくそう春まつり、北総ウォークへの協力、JR成田線においては、駅からハイキングへの協力を行った。

○市内間の移動の足を増やす

□移送サービスの活用（例：外出支援サービスなど）	障がい福祉課	申請のあった対象者に移動支援を実施	申請のあった対象者に移動支援を実施した。	A できている	継続して実施した為。
	高齢者福祉課	介助なしでは公共交通機関を利用することが困難な65歳以上の要介護認定者に外出支援サービスを実施する。	介助なしでは公共交通機関を利用することが困難な65歳以上の要介護認定者に外出支援サービスを実施した。 ・延利用件数456件 ・延利用者数276人	A できている	外出支援サービスの提供が図れた。
□福祉タクシーの活用	障がい福祉課	申請のあった対象者へタクシー券を交付	申請のあった対象者へタクシー券を交付した	A できている	継続して実施した為。
	高齢者福祉課	要介護3、4、5に認定された方に福祉タクシー利用券を交付し、乗車料金を一部助成する。	要介護3、4、6に認定された方に福祉タクシー利用券を交付し、乗車料金を一部助成した。 ・利用枚数721枚 ・利用者数240人	A できている	タクシー利用券を交付し、乗車料金の助成が図れた。

○地域ぐるみで防災に取り組む

□自主防災組織の設置、活動支援（地域での防災・炊き出し訓練の実施）	防災課	自主防災組織結成時及び活動時（防災訓練/年1回）に補助を行っている。	平成28年度自主防災組織数 90組織 活動助成金交付数 74組織 交付金額合計 1,375,200円 なお、平成28年度は新たな自主防災組織の結成はなかった。	B ほとんどできている	計画通り実行した。
□災害時要援護者への対策	防災課	印西地区消防組合と災害情報連携システム端末を通じて情報を共有し、日頃からの見守りの強化を図る。	各災害等において、印西地区消防組合と情報共有することで、迅速かつ的確な初動対応につなげることができた。	B ほとんどできている	計画通り実行した。
	社会福祉課	民生委員による一人暮らしの高齢者の調査等実施し、災害時要支援者の対策に生かせるよう情報収集を行う。	民生委員による一人暮らしや高齢者世帯の調査等を実施し、災害時要支援者の対策に生かせるよう情報収集を行った。	B ほとんどできている	情報収集については、概ねできている。
	障がい福祉課	障害福祉施設との福祉避難所協定締結内容の確認	地域自立支援協議会にて福祉避難所へ備品の配備を行ったが、施設との協定締結内容の確認は行っていない。	C あまりできていない	内容の確認を行う。
	高齢者福祉課	新規登録者を町内会に登録者の避難支援個別計画の作成を依頼していく。	新規登録者を町内会に登録者の避難支援個別計画の作成を依頼した。 ・要援護者登録数693人 ・個別計画作成者145人	C あまりできていない	関係各課と制度の見直しを図る。

□印西地区消防組合個人情報登録制度の普及、活用	防災課	印西地区消防組合で普及・活用されている。	登録制度の普及拡大に努めた。	B ほとんどできている	計画どおり実行した。
□家庭や地域での防災用備蓄の推進	防災課	総合防災訓練時や市HPで啓発を行う。	総合防災訓練時や市HPでの啓発の他、自主防災組織リーダー研修会や防災講演会を開催し啓発を行った。	A できている	計画どおり実行した。
□防災情報の発信の充実	防災課	防災行政無線、防災メール、防災HP、防災ツイッター、により情報発信を行っている。	各種情報伝達ツールを用いて、迅速かつ正確な情報発信を行った。 また、情報伝達の他、防災メールの登録に係る広報等を定期的実施することで、防災メールの利用促進に努めた。	B ほとんどできている	計画どおり実行した。
□母国語の異なる人向けの防災情報の工夫	防災課	H25年度に配布した印西市総合防災ブックの他言語版を作成・配布を行っている。	転入者や希望者に対し、防災課及び市民課において配布した。	B ほとんどできている	計画どおり実行した。

○災害時の連携体制を強化する

□地域防災計画による体制づくり	防災課	防災HP等により市地域防災計画の啓発を行う。	総合防災訓練時や市HPでの啓発の他、自主防災組織リーダー研修会や防災講演会を開催し啓発を行った。	B ほとんどできている	計画通り実行した。
□地域の避難所ごとの役割分担・連携	防災課	避難所運営に関して、自主防災組織のリーダーを対象に研修を行っている。	自主防災組織リーダー研修会を平成28年6月11日(土)に開催。 なお、今年度は自主防災組織の意見を反映し、開催時期を変更して実施。	B ほとんどできている	計画通り実行した。
□災害ボランティアの組織づくり	社会福祉協議会			D できていない	具体的な取り組みができなかったため
□災害時要援護者台帳の作成	障がい福祉課	要援護者登録の周知及び台帳の作成	障害福祉のしおりにて周知を行ったが、名簿更新者はいなかった。	C あまりできていない	関係課と連携する。
	高齢者福祉課	新規登録者の要援護者の名簿を作成し、地域支援組織に提供していく。	新規登録者の要援護者の名簿を作成し、地域支援組織に提供した。 ・要援護者登録地区124地区 ・党書締結地区88地区	C あまりできていない	自治会等と党書の締結をお願いしていく。

○地域で子どもや障がい者、高齢者を犯罪から守る

□地域の見守りネットワークづくりの支援	社会福祉課	主任児童委員を中心として、学校、地域及び行政と連携を図り、地域の問題の把握や日常の見守りを行う。	主任児童委員を中心として、学校、地域及び行政と連携を取り日常の見守りを行った。	B ほとんどできている	直接学校に出向いて情報収集をする等、地域の問題を把握し、活動につなげている。
	高齢者福祉課	配食サービスや市内の新聞店、ガス会社等に見守りをお願いする。新規事業所と協定を結んでいく。	配食サービスや市内の新聞店、ガス会社等に見守りをお願いする。新規事業所と協定を締結した。 ・新規協定締結事業所1カ所	A できている	制度の周知を図り、新規事業所と協定を締結した。
	社会福祉協議会	支部社協による配食サービスや安全パトロールによる見守りの実施。ふれあいサロンの実施。	・NT中央北支部、印旛支部でのふれあい麻雀 ・木下支部、本埜支部での買い物支援 ・木下支部での小学生との交流事業	B ほとんどできている	主に支部社協事業によるもののため
□犯罪被害等の情報提供	市民安全課	引き続き市民安全情報の配信や高齢者を中心とした防犯講話を実施。	市民安全情報の配信(年36回)や高齢者を中心とした防犯講話(年21回)を実施。	A できている	年間を通じて市民安全情報の配信や高齢者を中心とした防犯講話を実施することができた。

○まちかどの安全

□交通安全教室の開催	市民安全課	引き続き保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブにて教室を開催していく。	保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブにて教室を71回開催し延べ7,385名に対し実施した。	A できている	保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブにて教室を開催した。
□放置自転車や違法駐車の見守り	市民安全課	引き続き啓発活動、放置禁止区域での指導巡視活動、放置自転車の撤去活動を実施していく。	啓発活動を12回、放置禁止区域における指導巡視活動を265回、自転車の撤去活動を179回実施した。	A できている	啓発活動、放置禁止区域での指導巡視活動、放置自転車の撤去活動を実施した。
□街灯の整備	市民安全課	引き続き生活道路や公共施設、学校周辺等を重点とした防犯灯の整備を行っていく。	町内会自治会からの要望をもとに防犯灯188基の新規設置を行った。	A できている	生活道路や公共施設、学校周辺等を重点とした防犯灯の整備を行っていく。

第2次地域福祉計画進捗状況調査票

目標3 地域ぐるみで、いつまでも安心安全に暮らし続けられる「まち」をつくろう

施策7 地域でやさしく包み込む支援の輪づくり

- A できている
- B ほとんどできている
- C あまりできていない
- D できていない

○困っている人からのSOSを受け止める

	対象課	H28 具体的な取り組み	H28 具体的な取り組み実績	H28 評価	評価理由
□相談窓口の充実・広報	市民課	毎月第2金曜日・第4火曜日に法律相談及び市民生活相談、人権相談(第2金曜日のみ)を実施する。	毎月第2金曜日・第4火曜日に法律相談及び市民生活相談、人権相談(第2金曜日のみ)を実施した。 相談件数:法律相談218件、市民生活相談123件、人権相談2件	B ほとんどできている	全体としては空きがある状況であり、相談の機会としては充足しているが、今後も周知が必要と思われる。
	社会福祉課	市民の生活課題や不安ごとを気軽に相談できるように、民生児童委員と連携し、相談を受け、情報提供する。また、生活困窮者への相談支援を推進する。	市民の生活課題や不安ごとを気軽に相談できるように、民生児童委員と連携し、相談を受け、情報提供している。また、生活困窮者への相談支援を推進している。 新規相談 106件	B ほとんどできている	生活困窮者自立支援について、事業委託により相談窓口の設置し、推進している。
	障がい福祉課	障がい福祉に関する情報提供、助言等、相談を実施する。また日々の相談窓口の他、広報で相談日、場所をを周知し、相談を実施する。	個々のケースに対応した相談支援を行った。	A できている	継続して実施した為。
	高齢者福祉課 介護保険課	広報やちらし、HP、訪問、関係機関の会議等への参加により周知を図る。	広報やちらし、HP、訪問、関係機関の会議等への参加により周知を図った。	A できている	広報等により周知が図れた。
	子育て支援課	相談窓口を広報等に掲載し周知を図り、子どもと家庭の問題、母子・父子家庭の方の日常的な悩みや困りごと、生活上の問題について児童家庭相談、母子・父子自立支援相談を実施する。	ひとり親家庭の生活の向上と自立を促進するため、経済的支援や医療費等の一部を助成するほか、母子・父子自立支援員を配置し、自立に必要な各種相談等の充実を図れた。	A できている	相談窓口を広報等に掲載し周知に努め、様々な家庭児童相談等にに応じていくため、相談体制の強化を図れている。

□相談窓口の充実・広報	社会福祉協議会	毎週水・金曜の心配ごと相談の実施、市広報いんざい及び社協ふくし印西への掲載。	心配ごと相談や生活困窮相談など実施した。また、市広報いんざい及び社協ふくし印西へ掲載し周知を図った。	C あまりできていない	広報誌への掲載に留まっているため
□民生委員・児童委員による相談活動の支援	社会福祉課	市民からの相談に対し、必要な情報提供、助言又は、包括支援センター等関係機関とスムーズに連携できるよう支援する。	市民からの相談に対し、必要な情報提供、助言又は、包括支援センター等関係機関とスムーズに連携できるよう支援した。	B ほとんどできている	包括支援センター等関係機関との連携も図れた。
	社会福祉協議会	社協の福祉情報の提供による活動の支援	社協の福祉情報を提供することにより活動の支援を図った。	C あまりできていない	新任民生委員への事業説明・情報提供に留まっているため
□家庭内での暴力や虐待通報への対応体制の整備	障がい福祉課	障害者虐待防止センター機能の設置	障害者虐待防止センター（委託）を設置し対応した。	A できている	継続して実施した為。
	高齢者福祉課	各圏域の地域包括支援センターが相談窓口となり、地域からの相談や事業者からの相談など早期に受け取ることができるように窓口の周知に努める。	窓口を図るため、関係機関の定例会や会議等に出席すると共に、啓発物資を作成高齢者が集う場所やイベントで配布し相談窓口の周知に努めた。	A できている	地域包括支援センターが相談窓口である事を周知することができた。
	子育て支援課	関係機関から情報収集を行い連携を図り対応する。継続的に子ども虐待防止対策協議会にて情報の共有を図り、対応と支援策等検討を行う。	関係機関から情報収集を行い連携を図り対応する。継続的に子ども虐待防止対策協議会にて情報の共有を図り、対応と支援策等検討を行った。	A できている	実務者会議、進行管理会議等で関係機関と情報の共有を図り、対応と支援策等検討しケース管理を行った。
□引きこもりの方の家族向け相談窓口の充実	障がい福祉課	こんにちは若者訪問相談の実施	相談支援事業所の精神保健福祉士と訪問相談を実施した。	A できている	継続して実施した為。
□育児支援家庭訪問事業等の充実	健康増進課	赤ちゃん訪問事業等で心配な家庭の把握に努め、支援の必要な家庭については養育支援訪問事業の実施を検討し母子衛生部門と連携し育児支援を行っていく。	平成28年度の赤ちゃん訪問対象者808人に対し、784人に訪問を実施することができた。（実施率97.0%）また、赤ちゃん訪問のうち4件に対して養育支援訪問として支援を行うことが出来た。	A できている	訪問未実施者に対しても電話、面接等を行い、全数把握をすることが出来た。
□障がいや発達の違いのある子どもへの対応の充実	障がい福祉課	療育手帳の受付相談、障害児福祉サービスの支給相談	個々のケースに応じて、地区担当の保健師等と連携し支援を行った。	A できている	継続して実施した為。
□SOSネットワークの活用	高齢者福祉課	SOSネットワークを活用し要援護老人の早期発見、保護に努める。	SOSネットワークを活用し要援護老人の早期発見、保護に努めた。 ・依頼件数 42件/年	A できている	SOSネットワークを活用し成果が得られた。

□外国人市民への相談・支援	市民課	窓口で用件を聞き取り担当課へご案内する。	窓口で用件を正確に聞き取ることに努め、担当課へ案内した。	B ほとんどできている	窓口で必要としている担当課への案内に努めたが、日本語が話せない方の対応に苦慮している。
	企画政策課	外国人市民を対象とした相談窓口(予約制)を設置し、生活や法律に関する相談に応じる。(日時:第2金曜日の午前9時から午後4時、場所:市役所企画政策課)	相談窓口は設置していたものの、予約件数が0件だったため実績なし。	A できている	相談件数は0だったが、相談窓口を設置し、広報等に掲載するなど周知にも努めたため。
	子育て支援課	外国人市民の相談・支援にも努めていく。	通常と変わりなく相談・支援に努めた。	B ほとんどできている	相談・支援の対応を図る。
	健康増進課	各種外国語母子手帳をそろえて対応していくとともに、外国の方が、保健サービスを受けやすいよう相談支援を行っていく。	平成28年度の母子手帳交付数806人に対し、外国人妊婦は28人だった。妊娠届出時に、現在の状況を把握し、随時、地区の担当保健師が相談支援を行った。	B ほとんどできている	状況把握に努め、適宜相談支援を行っている。
	各課				

○犯罪や暴力・虐待の被害を拡大させないしくみをつくる

□犯罪被害を拡大させないための警察との連携	市民安全課	引き続き警察からの情報提供に基づき、犯罪発生状況や被害防止情報を市ホームページに掲載。また、警察との合同パトロールや啓発活動を実施。	警察から年間を通じて犯罪発生状況や被害防止情報の提供をいただき市ホームページに掲載したほか警察との合同パトロールや啓発活動を実施した。また、犯罪被害者等の支援に関し、印西市犯罪被害者等支援条例を制定した。	A できている	犯罪発生状況や被害防止情報を市ホームページ等に掲載し、警察との合同パトロールや啓発活動を定期的実施した。また、印西市犯罪被害者等支援条例を制定した。
□犯罪の発生を抑止するための防犯設備の設置	市民安全課	引き続き市内の駅前広場へ街頭防犯カメラの設置等を行っていく。	駅前広場の整備状況等から今年度は設置を見送った。	D できていない	今後の整備状況等を見ながら進めていく。
□犯罪被害にあわないための講習会等の開催	市民安全課	引き続き、高齢者クラブ、自治会町内会及び防犯ボランティアを対象とした防犯講話や研修会を実施。	高齢者クラブ、自治会町内会及び防犯ボランティアを対象とした防犯講話や研修会を実施。	A できている	高齢者クラブ、自治会町内会及び防犯ボランティアを対象とした防犯講話や研修会を実施した。
□暴力・虐待被害を拡大させないための警察、医療機関、行政機関との連携	社会福祉課	民生委員・児童委員を中心に、学校、地域等と連携を図り、地域の問題の把握や日常の見守りを行う。	主任児童委員を中心として、学校、地域及び行政と連携を取り日常の見守りを行った。	B ほとんどできている	直接学校に出向いて情報収集をする等、地域の問題を把握し、活動につなげている。
	高齢者福祉課	事例に応じた関係機関との連携、役割分担を行い対応を図る。	虐待ネットワークにより関係機関と連携を図ることができるようになり、警察からの相談など実績が増えている。また事例によっては関係機関と対応を協議するなど、適時対応を図ることができた。	A できている	定期的な事例検討会を開催することで、対応協議ができています。

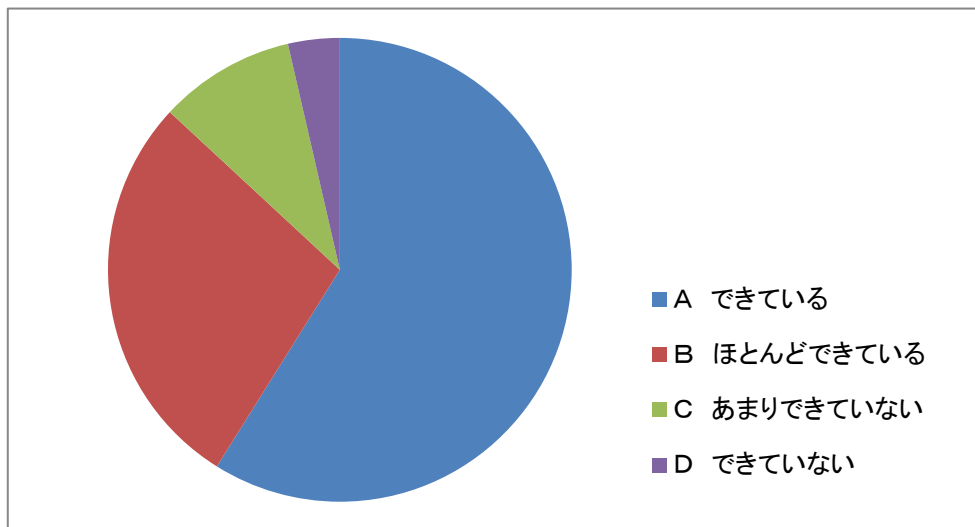
□暴力・虐待被害を拡大させないための警察、医療機関、行政機関との連携	障がい福祉課	事例に応じて関係機関と連携を図る。	医療機関、警察等を連携し、ケース対応を行った。	A できている	継続して実施した為。
	子育て支援課	関係機関との連携を強化し、早期対策及び児童虐待防止に努める。	関係機関との連携を強化し、早期対策及び児童虐待防止に努めた。	A できている	
□配偶者等暴力被害者緊急避難支援の充実	子育て支援課	月2回年間24回女性の悩み相談を実施する。	女性の悩み相談を実施し、相談者の心のケアに努めた。 相談件数 96件	A できている	
□子ども虐待防止対策協議会の活用	子育て支援課	子ども虐待防止対策協議会により関係機関との連携を図り、児童虐待防止のための多角的な支援を検討していく。	要保護児童対策協議会により関係機関との連携を図り、児童虐待防止のための支援を行った。代表者会議1回、実務者会議4回、進行管理会議7回、個別支援会議13回	A できている	要保護児童対策協議会により関係機関との連携を図り、会議の機能の強化に努めている。
□高齢者虐待防止ネットワークの活用	高齢者福祉課	高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会を開催し、防止のための事業を検討し関係機関の連携を図る。	高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会を開催し、防止のための事業を検討し関係機関の連携を図った。ネットワーク協議会から事業者間のネットワークができ、ネットワーク委員による虐待防止研修会も実施した。	A できている	高齢者虐待防止ネットワーク連絡協議会の委員を中心に虐待防止への取り組みができています。

○地域と家庭、地域と学校での支援の輪づくり

□学校と連携した不登校や引きこもりへの支援(例：緑のまきば)	社会福祉課	主任児童委員を中心として、学校、地域及び行政と連携を図り、地域の問題の把握や日常の見守りを行う。	主任児童委員を中心として、学校、地域及び行政と連携を取り日常の見守りを行った。	B ほとんどできている	直接学校に出向いて情報収集をする等、地域の問題を把握し、活動につなげている。
	指導課	昨年同様にケース会議の実施、適応指導教室での学習支援や教育相談を中心に児童生徒の支援にあたる。学校訪問も年2回実施する。	ケース会議20回実施。適応指導教室での学習支援を実施。教育相談件数154件。学校訪問(指導主事、子ども発達センター職員)が小学校21校、中学校9校すべてに対して年2回実施。専門的な視点からの指導・助言を行った。	B ほとんどできている	今後も効果的な指導・助言を行い、子どもの健全な成長に寄与したい。
□障がいを抱えた子どもたちへの学習支援	指導課	個別のニーズに合わせ、特別支援学級介助員41名、通常学級指導員28名を配置する。	個別のニーズに合わせ、特別支援学級介助員41名、通常学級指導員28名を配置した。	B ほとんどできている	ニーズに合わせて学校生活や学習活動の支援ができた。

<input type="checkbox"/> 外国人の子どもたちへの学習支援	指導課	学務課や印西市国際交流協会とも連携を図り、母国語での支援を要する児童生徒への学習及び学校生活支援を行っていく。	学校生活を送っていく上で、支障がある場合に、母国語または英語を通じて学校生活や学習活動の支援をする。H28年度 5校 5名	B ほとんどできている	学校生活や学習活動に支障のある児童生徒へ支援ができた。
<input type="checkbox"/> 地域みんなで子育て支援意識の啓発	子育て支援課	地域の子育て支援センターや児童館等で子育て親子の交流や多世代が交流できる場の提供を行い、地域の子育て支援機能の充実を図る。	地域の子育て支援センターや児童館等で子育て親子の交流や多世代が交流できる場の提供を行った。(地域子育て支援拠点事業17か所)	A できている	地域子育て支援拠点事業の充実を図り、子育て親子の交流や多世代が交流できる場の提供を行っている。

第2次地域福祉計画進捗状況調査票 評価について



A できている	58.9 %
B ほとんどできている	28 %
C あまりできていない	9.5 %
D できていない	3.6 %

	事業数	達成数(評価AB数)		A	B	C	D	
施策1	14	10		8	2	4		14
施策2	12	10		5	5	2		12
施策3	23	20		13	7	1	2	23
施策4	31	26		21	6	2	2	31
施策5	24	23		18	5	1		24
施策6	30	25		14	11	4	1	30
施策7	34	30	事業達成率	20	11	2	1	34
	168	144	85.7 %					
			合計	99	47	16	6	168